

周囲のサポートがあるからこそ、 困難も乗り越えられる。

学生時代から、何か困難にぶち当たったときは、1人で悩まず、周囲に相談するようにしてきました。相談し、話をするうちに、解決の糸口が見つけれられるだけでなく、課題に対するモチベーションも上がっていきます。モチベーションが上がると、効率や集中力も高まります。職場でもそんな経験をもとに、人と積極的に接することで困難な場面を乗り切ってきました。大学時代の友人は今でも良く相談相手です。

渡邊 駿

わたなべ しゅん

宮城県仙台市出身。北里大学大学院水産学研究所修了。入社2年目。品質保証部に所属し、微生物検査やヒスタミン検査などを担当。

学生記者の先輩社員 インタビュー



学生記者

岡田 奈美恵

【上野法律ビジネス専門学校】

——入社のごきっかけを教えてください。

渡邊 生物が好きで、大学では海洋生物学を学んでいました。当時は三陸沿岸にもよく足を運び、豊かな自然に惹かれ、三陸で働きたいという気持ちが膨らんでいきましたね。また、大学で細菌の勉強をしていたこともあり、検査部門の求人を見つけ、学んだ知識が活かせるのではないかとも思い、入社を希望しました。面接の際、社長や社員の皆さんのあたたかい雰囲気を受け、この会社に入りたいという気持ちがより高まりましたね。

——お仕事の内容を教えてください。

渡邊 品質保証部に所属し、商品の安全性の確認や工場内の衛生管理などを行っています。各種検査や、それに伴う書類作成などを担当しています。また、工場見学の案内や、企業説明会などにも対応しています。

——やりがいを感じるのはどんなときですか？

渡邊 休憩室の掲示板に、当社が手がける製品を食べた

子どもたちの感想が貼り出しているのですが、やっぱり「おいしかった」という言葉にいちばんのやりがいを感じます。工場見学に来た児童からの手紙も励みになりますね。業務は幅広く、困難なものもありますが、やり遂げたときの大きな達成感もやりがいにつながっていると思います。

——職場の雰囲気はいかがですか？

渡邊 悩んでいるときや落ち込んでいるときなど、直属の上司や先輩はもちろん、営業など他部署の皆さんも声をかけてくれ、励ましてくれます。相談にも親身に対応していただき、気にかけてもらっているのを感じます。

——今後の目標を教えてください。

渡邊 製造の現場をもっと深く知り、品質保証部の一員として、より安全で安心な商品の提供に貢献していきたいと思っています。企業説明会などの参加を通し、当社の魅力を発信していく役目も担ってきたいです。



徹底した検査体制、管理体制で、市場の信頼も高い。



東日本大震災の被災を受け、昨年新工場を新築。



和気あいあいとした職場で、充実した日々を過ごす。

◆ 経営理念

判断基準は「誠実かどうか」

株式会社津田商店はOEMの缶詰と、学校給食を中心に冷凍食品の製造を軸とした水産加工の会社です。経営理念は「誠の製品、誠の人材、誠の経営」。食品添加物や遺伝子組み換え食品を使用せず、アレルギーにも対応した安心安全な商品を製造しています。判断や決断が必要な場面は様々ですが、その基準は「誠実かどうか」。経営側はもちろん、社員一人ひとりが意識を共有し、およそ80年にわたりより良い商品を提供し続けています。

◆ 経営戦略

確かな管理体制で、市場ニーズに応える

全ての原材料、製品に対して、細菌検査や放射能検査を実施しています。東日本大震災以降、製品の安全性に対する不安の声が多く寄せられましたが、確かな検査体制のもと数値を示すことで、信頼を取り戻しています。現在人手不足もあり、市場のオーダーに応えきれない状況ですが、新工場の稼働に伴い機械化も進めており、生産力を高めることで、マーケットのニーズに対応できる生産体制を整えていきたいと考えています。

◆ 将来ビジョン

待遇の見直しで優秀な人材を確保

人手不足による仕事量の増加、機械化など生産体制の変化に伴うスキルの向上など、従業員の負担は増えています。製造業は人が何よりの財産です。待遇の見直しを図り、社員がやりがいと手応えを持って働ける環境を整備していきたいと考えています。また、業界の垣根を越えた優秀な人材の確保も重要な課題です。IT技術やコンピュータ、機械に関する高い知識を持った人材へのアピールを続けていきたいと思っています。

代表者からのメッセージ

若い皆さんの持つ、純粋さを大切にしたいですね。その年代でないと吸収できない感性があります。社会に出ると、自身の足元が見えにくくなるのが多々あります。そんなとき、己の芯になるのが、若い時期に培ってきた素養です。一人ひとりの考えを大切にしっかり持ち、流されず、学生時代を過ごしてほしいと思います。そういう時期であることを認識し、個性を追求する日々を過ごしてほしいですね。



代表取締役社長

津田 保之

株式会社津田商店の「キラリ」ここが強い！

- 「およそ80年にわたる長い歴史の中で培われた、全国から寄せられる高い信頼。
- 真面目で実直な人材が多い、誠実な企業風土。
- 年々評価の高まる、豊かな漁場を持つ三陸に立地。

》》 Company DATA

| | |
|-------|------------------------------------|
| 事業内容 | 水産物の加工及び販売(水産缶詰、水産調理冷凍食品、レトルパウチ食品) |
| 資本金 | 9,900万円 |
| 従業員数 | 169名 |
| 平均年齢 | 48歳 |
| 設立 | 1956年5月 |
| 売上高 | 27億8,000万円 |
| 初任給 | 202,880円(大卒) |
| 福利厚生 | 172,800円(短大・高専卒) 155,520円(高校卒) |
| 福利厚生 | 雇用保険、健康保険、労災保険、厚生年金、健康診断など |
| 休日・休暇 | 年間114日 |



最近の採用者数(30歳未満の若年雇用者)
24年度 8名 25年度 4名 26年度 7名

最近の離職者数(30歳未満の若年雇用者)
24年度 4名 25年度 0名 26年度 4名

【本社所在地】〒026-0301 岩手県釜石市鶴住居町10-30-1
☎0193-29-1800